

募金要項



募金の目的 茨城工業高等専門学校創立60周年記念事業
及び本校の教育研究活動支援のため

募金の目標額 500万円

募金種別 個人 1口 3,000円
2口(6,000円) 以上の場合は創立60周年記念誌贈呈
法人 1口 30,000円
創立60周年記念誌贈呈

募金の期間 令和6年3月1日～令和7年3月31日

募金の対象 ・茨城工業高等専門学校卒業生及び専攻科修了生
・茨城工業高等専門学校教職員及び元教職員
・茨城工業高等専門学校後援会会員
・篤志家及び法人等（企業・団体等）
※ご寄附頂いた方のご芳名・法人名を本校ホームページ等で
公表させて頂く予定です。

寄附のお手続きについて

◎オンライン寄附

インターネットでのお手続きでは、クレジットカード
決済、コンビニ決済、Pay-easy（ペイジー）決済が
ご利用いただけます。

◎銀行振込

口座情報：常陽銀行(0130)ひたちなか支店(034)
普通口座 2359979

口座名義：茨城工業高等専門学校基金
(イバラキコウギョウコウトウセンモンガッコウキケン)

振込手数料：本校が負担いたします。

※お振込み後、専用品紙もしくはインターネット等から入金
の連絡をお願いいたします。

詳細は右の二次元コードから
本校60周年記念特設ページをご確認ください。
https://www.ibaraki-ct.ac.jp/60th_anniversary/index.html



寄附金に対する税法上の 優遇措置について

本校に対するご寄附については、所得税法、法人税法による
税制上の優遇措置が受けられます。本校への入金が確認できま
したら「寄附金受領書」をお送りします。「寄附金受領書」は確
定申告に必要となりますので、大切に保管ください。

▶ 寄附者が個人の場合

・所得税

【当該年の寄附金合計額*】－【2千円】
＝当該年の所得金額からの控除額

*：寄附金の合計額は当該年の所得額の40%が限度です。

・住民税

都道府県民税及び市区町村民税につきましては各都道府
県、市町村の条例により控除を受けられる場合があります。
詳しくは、お住まいの各市町村にお問い合わせください。

▶ 寄附者が法人の場合

寄附金の全額を損金として算入することができます。



お問い合わせ先

〒312-8508 茨城県ひたちなか市中根866

茨城工業高等専門学校 総務課財務係

TEL.029-271-2815

FAX.029-271-2813

E-mail. zaimu@ibaraki-ct.ac.jp

[HP]



独立行政法人国立高等専門学校機構

茨城工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN).Ibaraki College

〒312-8508 茨城県ひたちなか市中根866

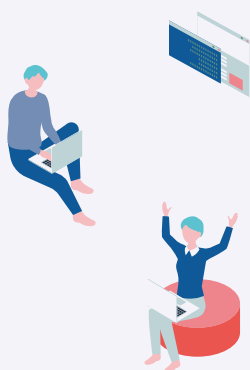
TEL.029-272-5201 FAX.029-271-2813



60TH
IBARAKI KOSEN

茨城工業高等専門学校
創立60周年記念事業

募金趣意書



茨城工業高等専門学校

創立60周年記念事業

募金のお願い



茨城工業高等専門学校 第12代校長

鈴木 秋弘



謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の発展に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昭和39年(1964)に開校いたしました本校は、令和6年(2024)に創立60周年を迎えます。創立当初は、機械工学科と電気工学科の2学科で発足いたしましたが、その後の時代の変遷に伴い、新たな分野の人財育成のため、また、産業界からの多様な人財要請に応えるため、幾度かの学科新設と改組を行いました。一番大きな変革は、機械システム工学科、電子制御工学科、電気電子システム工学科、電子情報工学科、物質工学科の5学科体制を、「資源」「エネルギー」「環境」などの地球規模の課題に取り組み、激動のグローバル社会で国際競争に立ち向かえるエンジニアを育成するため、グローバル教育へ舵を切ったことです。複数の分野を幅広く学び世界で活躍できるグローバルエンジニアを育成するために、平成29年(2017)に国際創造工学科(入学定員200名)に改組いたしました。また、平成13年(2001)に新設された専攻科(3専攻:機械・電子制御工学専攻、情報・電機電子工学専攻、物質工学専攻、定員20名)は、平成19年(2007)には産業技術システムデザイン工学専攻(4コース:機械工学コース、電気電子工学コース、情報工学コース、応用化学コース、定員20名)へと再編され、学士(大学改革支援・学位授与機構)も取得できる高等教育機関として充実した教育体制を構築しています。

本校では「自律と創造」を教育理念に掲げ、科学技術の進歩もたらす新たな課題に取り組みと共に、社会が抱える課題にも取り組み、解決策を生み出すことが出来る創造性溢れるエンジニアの育成に努めています。近年では専攻科生に課題解決型インターンシップとして、「MIPPE (Mutually Inductive Problem-solving Practical Education)」プログラム、本科生向けに「MIPPEプラス」プログラムを導入して地域企業との繋がりを深めています。

加えて、キャリア支援の充実を図り、進路におけるミスマッチを防ぐ取組として、「企業研究会」を開催しています。これは全国および地元企業に声をかけ、会社側の事業説明、学生との交流を通して、相互理解を深めてもらう取組です。学生には自分の進路は自分で決めて、その未来を切り拓く力を付けてほしいと願っています。また、本校における寮生の割合は22%、女子学生比率は本科21%、専攻科36%前後です。2022年度には、GCON(高専GIRLS SDGs x Technology Contest)で優秀賞を獲得しました。留学生をはじめとする入学生の広域化を含め、学生の活躍・挑戦の場もどんどん広がっています。今後も、ひたちなか市に唯一の高等教育機関として、さらに高度な変化を伴う社会的要請に応えるため、地域産業界、地方公共団体等との連携を強化し、研究・技術開発、技術交流等を活性化して地域、日本、さらには世界に貢献したいと考えています。

このたび、創立60周年を迎えるにあたり、本校の歴史と伝統を引き継ぎ、さらなる未来への飛躍を祈念して、これからの時代に相応しい人財育成、教育活動に必要な活動資金を募ることにいたしました。通常の運営資金に加え、皆様からのご支援による独自資金の形成が、次代を担う学生たちへのより幅広い支援と充実した教育環境作りにつながり教育の質をさらに高めるものとなります。

皆さまにおかれましては、何とぞ主旨にご賛同いただき、ご支援を賜りますように心からお願い申し上げます。

末筆ながら、皆さま方のますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

謹白

令和6年3月

